

## ＝ 潜水士の育成に向けて ＝

洋野町は、平成 28 年 4 月に一般社団法人日本潜水協会から岩手県立種市高等学校における潜水士の育成環境の充実を目的として、県内外から広く入学生を受け入れるための宿泊施設の整備に財政的支援をしたいという申し出を受け、岩手県教育委員会と協議・検討し、岩手県立種市高等学校教職員公舎を譲り受け、洋野町種市高等学校学生寮の整備に取り組むこととしました。

今回、これまでの洋野町における取り組み状況を紹介するため、機関紙“潜水士の育成に向けて”を創刊します。この機関紙を通して、これからの取り組みも紹介していきたいと思えます。

皆様よろしくお願ひします。

### I 洋野町種市高等学校学生寮整備基金の創設

一般社団法人日本潜水協会並びに一般財団法人港湾空港総合技術センターから寄附をいただき、種市高等学校における潜水士の育成環境の充実のための学生寮整備及び管理運営に充てる資金を積み立てるため、平成 29 年 3 月に「洋野町種市高等学校学生寮整備基金」を創設しました。

積立額は 5,000 万円です。

### II 洋野町種市高等学校学生寮整備費の予算化

去る 6 月 13 日の平成 29 年第 3 回洋野町議会定例会において、洋野町種市高等学校学生寮整備のための予算を盛り込んだ「平成 29 年度洋野町一般会計補正予算（第 1 号）」が可決され、学生寮整備に向けて本格的に動き出します。

予算額は、整備工事費、備品購入費等を含め 4,854 万円です。



横手公舎の現況

### III 洋野町種市高等学校学生寮整備の概要

洋野町種市高等学校学生寮は、岩手県教育委員会から教職員公舎 4 棟を譲り受け、1 棟は管理棟兼食堂に、残り 3 棟を生徒用の寄宿舎とし、最大定員 18 人～20 人の利用を計画しています。生徒用の居室は、個室を予定しています。

これから、整備工事に向けて実施設計を行い、平成 30 年 1 月末の完成を目指して取り組みます。実際の入寮は、平成 30 年度からを予定しています。

### IV 潜水士育成を目的とした教育費寄附金

一般社団法人日本潜水協会並びに一般社団法人全日本漁港建設協会の呼びかけにより関連団体・企業様から、潜水士育成を目的とした教育費寄附金が多数寄せられています。

ご寄附いただきました団体・企業様には、大変ありがとうございました。今後、学生寮の管理運営に大事に活用させていただきます。引き続き、寄附金は受付しておりますので、よろしくお願ひします。

#### ※ 編集後記

種市高等学校学生寮の整備に向けて、本町の取り組み状況の見える化に努めてまいりますので、皆様の応援をよろしくお願ひします。（お）